

昔話や童謡をモチーフに、人形劇や紙芝居などいろいろな方法で

作品をつくってきた京都の「劇団しようよ」が、

モンゴル民話「スーホの白い馬」のお芝居をお届けします。

愉快で、悲しくて、楽しくて、寂しげな、劇団しようよの世界をお楽しみください。

離れ離れになってしまう「スーホ」と「白い馬」。

お芝居を通じて“体感する”物語。

劇団しようよの スーホの白い馬



劇団しようよの子ども向け演劇作品

国語の教科書シリーズ① 『劇団しようよのスーホの白い馬』

のご案内

劇団しようよの『スーホの白い馬』

『スーホの白い馬』は、モンゴルの伝統楽器・馬頭琴の由来にまつわる民話です。光村図書出版発行の小学校二年生向け国語教科書にも採用されています。

劇団しようよは、2017年3月に下京図書館（京都市）での子ども向けイベントにて、『スーホの白い馬』を題材にした作品の上演を行いました。



小劇場スタイルで“観る”から“感じる”へ

この作品は、**収容人数 50 人程度のスペース**で上演する、いわゆる**小劇場**と呼ばれるスタイルで、会議室やひとつの教室ほどの空間の中で上演します。

目の前で演じる俳優、それに合わせて奏でられるギター、色彩豊かな舞台美術。それらが混ざり合い、子ども達に**物語の世界を届けます**。

なにより、観るだけでなく**物語を体感する作品**です！

物語を体感し、より身近な存在として捉える。

物語を「演劇」で観るということは、多くの友達や仲間と「時間」「空間」を共有し、“**集団で物語を体験する**”ということが大きな特徴として挙げられます。

手を伸ばせば触れることも可能な距離にいるお芝居を観ることには、**本を読むだけではできなかった体験**があります。『スーホの白い馬』の物語で描かれている出会いと別れというモチーフを、より子どもたちにとって身近に、**自分自身のこととして投げかける**ことができます。子ども達は登場人物の気持ちを想像するだけでなく、共に観劇している仲間や家族の存在へまでも想像の輪が広がります。

劇団しようよ版『スーホの白い馬』の上演は子どもたちの想像力の手助けとなります。



2017年3月に上演した『劇団しようよのスーホの白い馬』動画がYoutubeでご覧いただけます。

<https://youtu.be/am9GdwWmklk>

※次回上演に向けて、さらにバージョンアップ予定です。

対象学年



対象学年は、1年生から6年生まで幅広く楽しんでいただけます。

作品の概要

上演に必要な場所の条件 : 多目的室や会議室など。平坦な床の教室。
演技エリアとして、奥行き5メートル × 横4メートルがとれること。
※家庭用程度の電源を使用します。

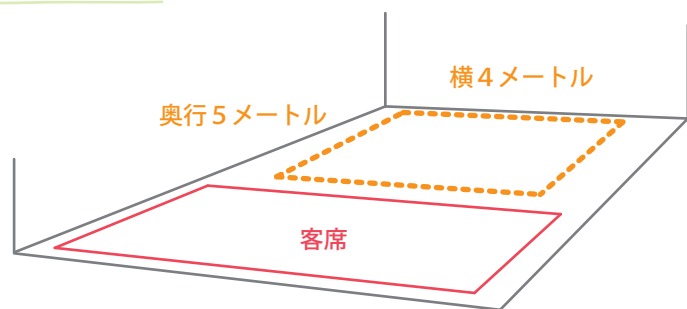
上演時間：30分

準備に要する時間：2時間

後片付けに要する時間：1時間

出演者：6名

スタッフ：1～2名



実施モデル案

作品の上演と合わせて、事前に体を使って物語の一部を演じてみたり、お芝居を観る準備のためコミュニケーションゲームなどのワークショップを行い、その体験を元に作品を観てもらうことも可能です。

①ワークショップとセットでのプログラム

事前に、劇団員によるワークショップで、表現力やコミュニケーション力を学び、その後、劇団の上演作品を実際に観てもらいます。

②国語の授業の一環として

「スーホの白い馬」の作品を教科書を基にした授業内容の延長として上演します。

③演劇鑑賞として

子ども達に登場人物と同じ目線で劇世界を体験してもらいます。

(講堂・ホールでの大人数を想定した上演ではないので、芸術鑑賞だけでなく、総合学習や道徳の時間などにもご活用ください)

価格

作品上演のみ

19万9千円

作品上演 + 演劇ワークショップ(上演とは別日に一回実施)

26万4千円

※交通費・運搬費は別途、実費にて頂戴します。

※上演する会場の設備に応じて、追加機材費などが必要になる場合があります。

【劇団しようよとは】

2011年に旗揚げした、京都を拠点に活動する“現代演劇”の劇団です。

現代演劇とは、上演する作品ごとに手法やコンセプトを組み立て、演劇の常識にとらわれず、自由な表現をする演劇のことです。

劇団しようよは、これまで童謡や童話など既存のモチーフを手がかりにしたオリジナルの物語を、楽器による生演奏や、紙芝居、人形劇などの様々な手法を用いて、上演してきました。作品を発表する場所も、劇場のみならず野外や倉庫・学校・銀行の跡地など様々な場所での上演に挑戦してきました。

お年寄りから、子どもたちまで、幅広い世代に支持される間口の広い作品の上演をモットーに活動しています。



【連絡先】

住所：京都市下京区岩戸山町 440 番地 江村ビル 2F

電話：075-276-5779(フリンジシアタープロジェクト内)

MAIL：gkd_444@yahoo.co.jp

WEB：http://www.gkd-444.com